



青き楓

島高だより
平成29年2月号
(通巻第131号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から



今度いつ帰る

校長 野田 定延

♪元氣でいるか 街には慣れたか 友達できたか
シンガーソングライターさだまさしさんの「案山子」という楽曲の歌い出しです。私が高校3年生の秋に発表され、大学時代によく聴きました。大学進学と同時に島原を離れ、福岡でひとり暮らしをはじめた私には、深く心に響くものがありました。高校卒業後に島原を離れる朝は、島原外港から高速船に乗り福岡に向かうことになっていました。自宅から外港まではタクシーで行きました。私は「そしたら今から福岡に行くけん。」と母に言って、タクシーに乗り込みました。タクシーが動き出すと同時に、私は、母が涙を流すのを見ました。それは、私が初めて見た母の涙でした。我が子を外に出す寂しさなのか、高校を立派に卒業した我が子が巣立つ喜びか、その涙の意味はよく分かりませんでした。なんとなく大学では頑張らねばという思いが湧いてきたのを覚えています。大学在学中、たまに母に電話をかけると、必ず「風邪は引いとらんか? 今度いつ帰ってくつとなあ。」という声をかけてくれました。それは、私の中で「案山子」の歌詞

♪寂しくないか お金はあるか 今度いつ帰ると重なるものでした。母が亡くなって久しい今、あの時の涙の意味を尋ねることは叶いませんが、あの涙が当時大学生だった私の心の支えになったことは確かです。

69回生の皆さん、いよいよ卒業ですね。親のことばや涙は誰にとってもかけがえのないものです。皆さんが経済的にも精神的にも自立するのは、まだ先のことになるでしょう。これからしばらくは、育ててくれた親への依存が続いていくことになります。親の思いやことばをしっかり受け止めて生きていって欲しいと思います。

♪手紙が無理なら 電話でもいい 金頼むの一言でもいい
おまえの帰りを 待ちわびる おふくろに聞かせてやってくれ
メールやLINEが隆盛の時代ですが、電話で皆さん自身の声を聴かせるのがいいに決まっています。しかし、一番いいのは顔を見せてあげることですね。

3月の主な行事予定

- 1日(水)第69回卒業証書授与式
- 2日(木)短縮40分授業
- 4日(土)スタディーサポート(1年)
- 土曜講座(2年)
- 8日(水)1・2年 自宅学習(~10日)
- 公立大学中期試験
- 11日(土)土曜講座(1・2年)
- 12日(日)国公立大学後期試験
- 13日(月)体力テスト・身体測定(2年)
- 14日(火)体力テスト・身体測定(1年)

- 15日(水)全国選抜大会壮行会
- 16日(木)高校入試合格者発表(9:30)
- 17日(金)合格者テスト・保護者同伴説明会
- 20日(月)春分の日
- 23日(木)早朝補習終了(1・2年)
- 24日(金)終業式・離任式
- 26日(日)全国選抜レスリング(~29日)
- 合唱部定期演奏会(文化会館)
- 27日(月)登校自学(1・2年)
- 全国選抜剣道(~28日)

第7回まゆやまロード健脚大会

体育科
荒木 雅義

1月31日(火)、第7回まゆやまロード健脚大会が実施されました。生徒たちはグラウンドを元気よくスタートし、同じ班の仲間と共に励まし合いながら約19キロの長い道のりをゴール目指して進んで行きました。

まゆやまロードはアップダウンが多く、まさに「体力の限界への挑戦」にふさわしいコースですが、生徒たちは日頃の体育の授業や部活動で培った体力を十分に発揮しました。途中でへこたれたかと思いきや、カメラを向けられるとポーズをとりつつ、最後まで元気に駆け抜けました。ゴールした瞬間の仲間と讃え合う姿や、達成感に満ち溢れた笑顔がとても印象的な一日となりました。

ゴール後は、保護者の皆様のご協力のおかげで温かい豚汁をいただくことができました。生徒たちは心のこもった美味しい豚汁に舌鼓を打ち、疲れを癒していました。前日の下ごしらえから始まり翌日の大会にかけて、ご協力ありがとうございました。



第7回まゆやまロード健脚大会 上位入賞クラス・班

【クラス別・2年】	【クラス別・1年】
1位 2年5組	1位 1年1組
2位 2年4組	2位 1年5組
3位 2年3組	3位 1年2組

【班対抗・2年男子】	【班対抗・2年女子】
1位 2年4組4班	1位 2年2組4班
2位 2年5組1班	2位 2年3組3班
3位 2年3組1班	3位 2年6組5班

【班対抗・1年男子】	【班対抗・1年女子】
1位 1年1組1班	1位 1年1組5班
2位 1年2組1班	2位 1年5組6班
3位 1年1組3班	3位 1年2組5班

*クラス別…各クラスの
全ての班の平均成績

*班対抗…各班ごとの成績



前日の準備、当日の配膳まで、ありがとうございました!

平成二十八年学校評価について

教頭 中田 克之

- ①生徒の評価については、「2」「8」「9」の項目がやや低い結果でした。保健相談部が実施した「悩み調査」の結果も踏まえ、すぐに担任による面談を実施しました。また、本年度から調査回数を増やし、きめ細やかな対応ができる体制を整えています。
- ②保護者の皆様の評価については、概ね高い評価をいただいたと思います。
- ③「17」の「主権者教育」については、選挙権年齢の引き下げに伴い意識の高まった3年生は74%でした。しかし、1・2年生は約60%とまだまだ意識の低さがうかがわれますので、今後授業等を通して取り組んでいきたいと思ひます。

	質問項目	よくあてはまる+あてはまる	
		生徒	保護者
1	教育方針・育てたい生徒像	91%	93%
2	学習と部活動の両立	78%	88%
3	わかりやすい授業	83%	83%
4	校則・社会のルール	93%	94%
5	進路情報提供	89%	85%
6	進路実現支援	89%	85%
7	清掃活動	89%	89%
8	健康管理	79%	86%
9	教育相談	78%	81%
10	学校行事の充実	85%	90%
11	施設・設備	81%	88%
12	防災・危険防止	91%	89%
13	情報提供	96%	94%
14	P T A ・同窓会との連携	93%	95%
15	人権教育	94%	89%
16	環境教育	80%	92%
17	主権者教育	66%	75%
18	島高生としての誇り	81%	88%

④本校としては、授業改善についての研究（アクティブラーニング・ICT教育等）も始めており、来年度に向けて大きな課題として取り組んでいきたいと思ひます。

⑤すべての教育活動を通して、「文武両道」の校是のもと「高い志を持ち、その実現に挑む」島高生を育成するという本校の使命を全教職員で果たすべく努めて参ります。

なお、より詳しいデータは本校HPに今後掲載いたします。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

国公立大学前期試験・学力検討会 進路指導部主任 酒井 太一

2月25日（土）に国公立大学前期試験が実施されました。これまでの努力が実り、見事に合格を勝ちとることを島高にかかわる全ての人々が願っています。また、1・2年生もいずれ受験生となります。先輩の姿から多くのことを学び取って下さい。

【3年生】…前期試験には国立大学、公立大学あわせて約130名の生徒が臨みました。直前まで職員室では至る所で熱心に質問する3年生の姿が見られ、自学スペースや図書室で勉強する姿からも、不安とともに熱い志が感じられました。合格発表は3月上旬に行われ、2月27日からは中後期試験に向けての授業を実施します。

【1・2年生】…各学年とも学力検討会において、1年間の成績推移と次年度に向けての方針を検討しました。いよいよ2年生は4月から受験学年となります。「受験生への変身」に向けた取組を、1年生は進路講演会などを活用して「受験に向けて今できること」を考える取組を行います。

第19回島原半島美術展報告 美術部顧問 小野 大輔



2月8日（水）～12日（日）、ふれあいホールサンプラザ万町にて開催されました。半島内の8校の高校生による美術展で、出品数63点、309名の来客がありました。

美術部に属する生徒数減等のため開催が危ぶまれた昨年が嘘のように、会場に収まりきれない程の出品があり、試行錯誤して展示しなければならないという嬉しい誤算がありました。また、オリジナル看板の設置や作品鑑賞会、広報活動等に力を入れ多くの方に鑑賞していただいたことを嬉しく思ひます。来年度はさらに見応えのある展覧会になるよう、日頃の制作に真剣に取り組んでいきたいと思ひます。

美術部部长 松尾 采奈

準備から片付けまで、自分たちで協力して携わったことで会場に見に来ていただける喜びを十分に感じることができました。また、生徒同士でお互いの作品を紹介し合い、他の作品にふれることで次の作品制作に向けての良い機会になったと思ひます。この美術展で展示した作品は、校内に飾ってありますので、興味のある方は是非ご覧ください。

読書会『沈黙』を読む

原 研 修
亜 広 報
由 部
美

2/13（月）、本校図書館にて読書会を開催しました。読書会とは、参加者が同じ本を読み、互いに感想や意見を述べ合うことにより、異なる視点や考え方を知り、より深く本の内容を読み取るとともに、感性を磨き視野を広げることが目的の取り組みです。

今回はマーティン・スコセッシ監督による映画化で話題の遠藤周作『沈黙』を読みました。「遠藤周作文学館」の学芸員・川崎友理子様をお招きして、作者の意図や、多くの人を読み飛ばしがちな末尾の章の重要性などについても解説していただき、参加した生徒は「なるほど」「一回読んだだけじゃ気づかなかった」と頷きつつ、読書好き同士の交流を深めていました。



雲仙100年の森卒業記念植樹

生徒会指導部 吉川 薫

平成2年から始まった雲仙普賢岳の噴火活動により、普賢岳周辺の森は大きな被害を受けました。その後、美しかった島原半島の森を蘇らせ、100年後の子どもたちに美しい自然を残し、噴火災害の記憶と、復興に立ち上がる勇気の大切さを伝えることを目的とし、「雲仙100年の森づくり」が開始されました。

今年も2月13日（月）に島原半島内の10の高校から約500人が集結し、本校からは3年生の進路決定者33名が植樹に参加しました。島高生の手で植えられた木々が、雲仙普賢岳の自然を支えてくれることでしょう。



主な部活動実績等

（2月4日実施分まで掲載）

陸上部

第46回雲仙小浜SPAリゾートマラソン大会

高校女子 5kmの部

第4位 城谷 桜子

平成28年度長崎県高等学校新人体育大会男子駅伝

区間賞

第4区 近藤 亮太



剣道部

平成28年度全国高等学校選抜剣道大会 長崎県予選大会

男子 優勝
女子 第2位

男子 最優秀選手 志築 柁威
優秀選手 林田 拓朗
女子 優秀選手 東 陽乃

平成28年度長崎県下女子剣道大会

高校生個人の部

優勝 東 陽乃
準優勝 岩永 遥佳
第3位 山口 小波

